

「東北メディカル・メガバンク計画」について

平成24年6月26日

文部科学省

「東北メディカル・メガバンク計画」について

◆ 東北メディカル・メガバンク計画について

- 被災地の住民を対象として健康調査を実施し、医療情報ネットワークと連携しつつ、大規模なバイオバンクを構築。
- 健康調査を通じて被災地の住民の健康管理に貢献するとともに、バイオバンクを用いた解析研究により、個別化医療等の基盤を形成し、将来的には、東北発の次世代医療の実現を目指す。

◆ これまでの主な経緯

- ・第9回東日本大震災復興構想会議（平成23年6月11日）において、村井宮城県知事より、最先端診療と研究拠点としての「東北メディカル・メガバンク」の創設を提言。
- ・「東日本大震災からの復興の基本方針」（平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定）において、『拠点機能形成の具体例』として記載。
- ・「日本再生の基本戦略」（平成23年12月24日閣議決定）において、『被災地で新成長戦略を先進的に取り組む主な施策例』として記載。
- ・平成23年度第3次補正予算で約158億円、平成24年度予算で約56億円を計上（※※）。
- ・文部科学省に設置した「東北メディカル・メガバンク計画検討会」において、東北大学、岩手医科大学の実施計画案について議論し、提言をとりまとめ。また、科学技術・学術審議会ライフサイエンス委員会においても評価を実施（平成24年6月）。